

第25回リスニング英語検定試験実施結果

(令和元年12月)



公益社団法人 全国工業高等学校長協会

はじめに

2020年度開始の大学入学共通テストで英語民間試験の活用が見送られたことを受け、11月29日、国立大学協会が個別試験での対応を公表しました。それによると、学部入試を実施する82校のうち、21年春の一般選抜（一般入試）での活用を見送る大学は65校で全体の約8割に上り、活用する大学16校もほぼ全てが出願条件とはしていません。共通テストでの活用見送り前に比べ、民間試験を使う割合は大幅に縮小したことがわかります。

また、新聞報道によれば、文科省は24年度の実施を目指し、新たな英語入試の制度をつくる考えのようです。それまでの間、共通テストの英語は大学入試センターが作成する従来通りの「読む・聞く」の試験のみとなる可能性が高く、国際社会で活躍できる人材を育てるため、英語を「話す・書く」力をどう測り、どう育てるかは各大学に委ねられることとなりました。

高等学校学習指導要領では、多様な人々と、互いの考えや情報を主体的に伝え合うため、英語の「読む」「聞く」「話す」「書く」の4技能を総合的に育成することを求められてきましたが、文科省によれば、高校3年生の英語力は特に「話す」「書く」に課題があるとの調査結果報告があります。

大手予備校からは、「大学においても、グローバル化時代を担う人材を育成するためには、これら英語4技能の習得は重要で、大学入試で4技能が重視される流れはあり、今後も変わらないだろう。」との指摘もあります。

さて、第25回のリスニング英語検定試験ですが、関係の皆様のご協力により、2万人を超える受検者がありました。誌面をお借りしてお礼申し上げます。この試験は名前のとおり、「英語聞き取り力」に的を絞った検定試験で、初回からそのスタイルを変更しておりません。前述のように課題ありとされた「話す」「書く」には各自で対応してもらうことにしていますが、英語リスニング能力はその基礎となると思っています。

グローバル化に対応するためには、工業科においてこそ英語の4技能を育成することは重要だと思いますが、英語科との連携も必要かと感じています。

それでは、第25回リスニング英語検定試験の結果についてまとめましたので、ここに報告いたします。

第25回リスニング英語検定試験実施要項

1. 主 催 公益社団法人全国工業高等学校長協会
2. 目 的 国際社会に貢献できる人材の育成を目指し、基礎的・基本的な工業技術英語の表現や会話のリスニング能力を向上させることを目的とする。
3. 内 容 と 程 度 英会話におけるリスニング能力を試験するもので、次の3タイプの問題で構成している。
Part 1 英文の内容に合う絵を選ぶ問題（10問）
Part 2 絵の内容に合う英文を選ぶ問題（10問）
Part 3 英文や会話文を聴いて、質問に答える問題（20問）
4. 基 準 日 **2019年10月11日（金）**
試 験 期 間 **2019年10月11日（金）～10月19日（土）**
※ 試験実施日を試験期間以外に定める時は、別紙の「検定試験の実施日の変更を希望する場合の処置について」に従い処置をしてください。
※ 原則として、**試験実施日を基準日より早める時は、試験問題作成・送付の関係上、試験実施日を基準日の3日前迄に設定してください。**
5. 実 施 会 場 受検を希望する学校
6. 受 検 資 格 在校生、及び会場校責任者が認めた者
7. 合 格 基 準 全て同一の問題で実施して、70点以上得点した者を合格者とし、得点により、90点以上を1級、80点以上を2級、70点以上を3級に認定する。
8. 検 定 料 900円（税込）
※2019年度は、消費税率にかかわらず税込価格を変更いたしません。
9. 検定実施手順 ※WEB上での「申込」「報告」の詳細につきましては本協会WEBページ（“全工協会”で検索）上の「WEB入力手順」をご確認ください。

※願書・受検票用紙は、受検手続きにおいて必要な書類ではありません。不要の学校は、②受検申込から始めてください。

①願書・受検票用紙申込（必須ではありません）

願書・受検票用紙を希望する学校は、**5月6日（月）から6月7日（金）**の間にWEB上から申し込みをする（願書・受検票用紙は**6月12日以降に順次発送**いたします）。

※ 願書・受検票用紙は、協会のWEBページからもダウンロードできますので、すぐに必要な際はダウンロードしコピーしてご対応ください。

②受 検 申 込

受検者を確定させ、**5月6日（月）から7月5日（金）**の間に、WEB上から申し込みをする。

③検定料の納入

7月12日（金）までに以下の2つの方法のいずれかで送金をする。
◎ **4月1日付けで学校長宛に送付した、第25回リスニング英語検定試験用の「払込取扱票（払込料金加入者負担）」（赤色）**を用いての送金（この場合に限る、送金手数料を全工協会が負担する）
※ **「払込取扱票（払込料金加入者負担）」（赤色）は、再発行することはできません。**

◎以下の郵便口座または銀行口座へ学校側が送金手数料を負担した上での送金
(お送りした払込取扱票の紛失や追加して送金したい時はこちら)

口座名義(各口座共通): 公益社団法人全国工業高等学校長協会

郵便口座: 00160-4-96148 / 銀行口座: リソナ銀行 九段支店(普) 134674

※郵便局に備え付けの青色の払込取扱票(払込料金払込者負担)を用いる際は
通信欄に必ず検定名・学校番号を明記しておいてください。

※納入いただいた検定料は、いかなる理由があっても返金できません。金額を
誤って送金しないようご注意ください。

※「振替払込請求書兼受領証」をもって領収書に代えさせていただきます。協
会発行の領収書が必要な場合はご連絡ください。

- ④検定の実施 試験問題が**実施日の1週間前を目途に送られてくる**ので、試験問題に同封の「リス
ニング英語検定試験実施細則」により厳正に実施する。
- ⑤採点 学校ごとに定める委員会で、別に定める解答により行う。
- ⑥合否決定 学校ごとに定める委員会で審査し、当該学校長が決定する。決定後、その結果
は発表しても良い。
但し、検定試験問題の漏洩予防のため試験実施後1ヶ月は問題用紙・解答用紙
を受検者に返却してはならない。
- ⑦試験結果報告 **11月1日(金)**までに結果を集計し、WEB上から報告をする。
※合格者がいなかった場合は、受検者数のみ入力してご報告ください。
※合格者の名簿は、各学校で印刷し保管しておいてください。
- ⑧合格証書 合格者には11月末頃合格証書を交付する(**合格証書の氏名・生年月日は学校
で記入する**)。なお、認定日は試験結果報告期限日の**11月1日(金)**とする。
※合格証書は、到着後、直ちに部数の確認及び記入をしてください。(不備の
場合は必ず**1ヵ月以内**にご連絡ください。)
10. その他 ◇教室掲示用の文書(A4判)を同封してありますのでご利用ください。
◇申し込みは、学科ごとではなく学校で一括してお申し込みください。
◇**問題用紙・問題CDは、到着後直ちに部数をご確認いただき、鍵のかかる金
庫等で、漏洩等が無いよう試験開始直前まで厳重に管理してください。**
◇問題CDについては、別紙「リスニング英語検定問題用CDの申込について」
をよくご確認ください。
◇**検定試験実施後は問題・答案を速やかに回収し、実施日以降1ヶ月間は学校
に保管するよう徹底してください。**
◇**実施結果は全工協会WEBページに掲載いたします。**
◇スクリプトは実施結果に掲載いたします。
◇合格者は、「ジュニアマイスター顕彰制度」において合格級に応じた対象得点
を取得することができます。なお、本検定は複数回の受検を認めていますが、
ジュニアマイスターの得点は取得した最上位級のみとなります。

※検定試験の内容についてご不明な点がございましたら、次の担当者までお問い合わせください。

◇リスニング英語検定試験担当: 水野 静佳

T E L 03-3261-1500 F A X 03-3261-2635

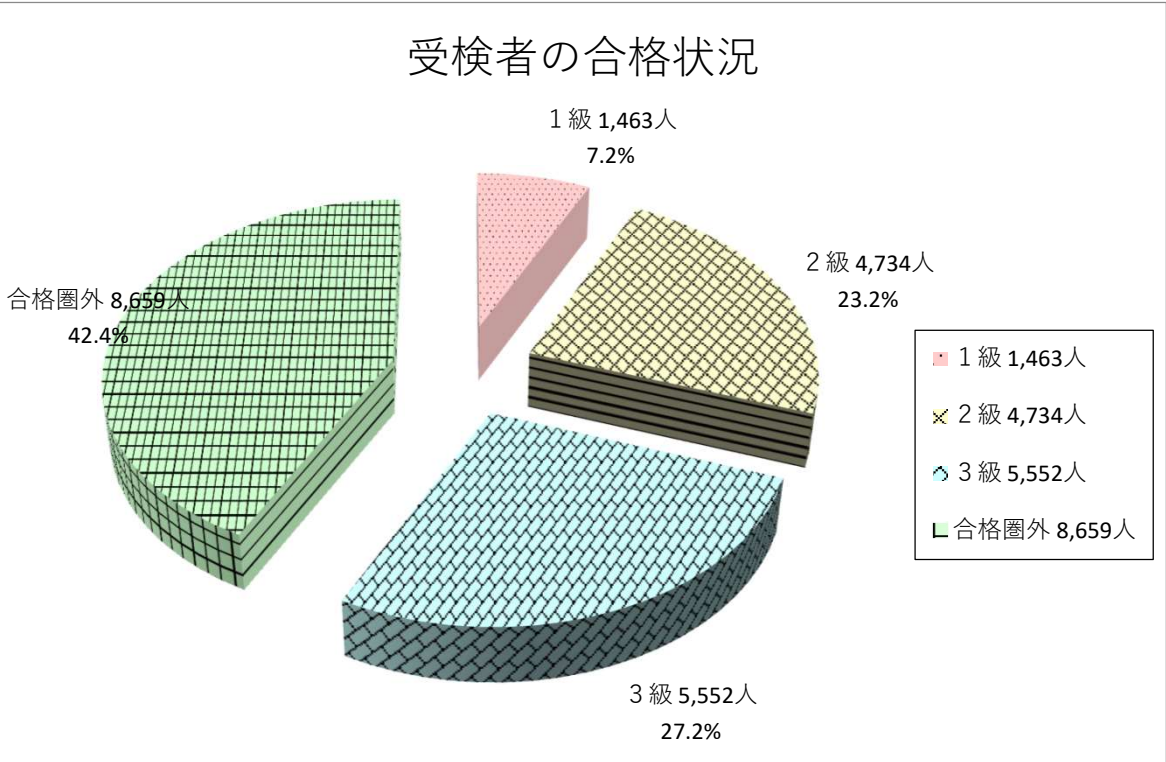
E-mail mizuno@zenkoukyo.or.jp

第25回リスニング英語検定試験成績表

1. 実績データ
実施基準日 令和元年10月11日
申込者数 20, 801名
受検者数 20, 408名

2. 合格ラインと合格率

級	合格ライン	合格者数	合格率
1級	90点	1,463名	7.2%
2級	80点	4,734名	23.2%
3級	70点	5,552名	27.2%
合 計		11,749名	57.6%



年度別リスニング英語検定試験実績

回数	実施日	校数	申込者数	受検者数	合格者数 1級	合格者数 2級	合格者数 3級	合格者数 合計	合格率
施行	H06.06.07	98		22,524	1,159	2,368	9,992	13,519	60.0%
第01回	H07.05.20	96	10,846	10,673	18	87	2,138	2,243	21.0%
第02回	H08.05.18	92	8,782	8,641	181	709	4,355	5,245	60.7%
第03回	H09.10.04	107	9,498	9,082	468	1,237	5,173	6,878	75.7%
第04回	H10.10.03	97	8,920	8,550	244	892	5,277	6,413	75.0%
第05回	H11.10.02	100	8,955	8,552	18	111	2,537	2,666	31.2%
第06回	H12.10.07	91	7,847	7,435	155	789	4,182	5,126	68.9%
第07回	H13.10.06	86	7,889	7,457	32	281	3,709	4,022	53.9%
第08回	H14.10.05	88	7,507	7,213	51	298	2,921	3,270	45.3%
第09回	H15.10.04	90	7,799	7,599	10	50	2,347	2,407	31.7%
第10回	H16.10.02	83	6,909	6,587	466	2,127	2,254	4,847	73.6%
第11回	H17.09.30	79	7,724	7,449	77	824	2,267	3,168	42.5%
第12回	H18.10.06	89	8,649	8,396	282	1,275	2,408	3,965	47.2%
第13回	H19.10.05	103	10,677	10,379	355	2,075	3,280	5,710	55.0%
第14回	H20.10.10	102	11,319	11,032	66	570	2,350	2,986	27.1%
第15回	H21.10.09	114	12,459	12,070	489	2,812	4,804	8,105	67.1%
第16回	H22.10.08	127	13,857	13,562	164	1,376	3,835	5,375	39.6%
第17回	H23.10.14	129	15,271	14,935	602	3,616	5,371	9,589	64.2%
第18回	H24.10.12	152	19,205	18,904	4,945	6,747	4,042	15,734	83.2%
第19回	H25.10.11	171	22,774	21,228	238	1,986	6,053	8,277	39.0%
第20回	H26.10.10	176	24,905	24,526	1,156	5,578	7,950	14,684	59.9%
第21回	H27.10.09	185	25,688	25,252	126	1,244	5,221	6,591	26.1%
第22回	H28.10.14	182	24,415	23,958	657	4,677	8,605	13,939	58.2%
第23回	H29.10.13	198	23,856	23,486	1,240	6,930	8,065	16,235	69.1%
第24回	H30.10.12	190	22,416	22,047	221	1,640	4,588	6,449	29.3%
第25回	R01.10.11	178	20,801	20,408	1,463	4,734	5,552	11,749	57.6%

第25回リスニング英語検定試験成績表

都道府県	学校数	申込者数	受検者数	合格者数 1級	合格者数 2級	合格者数 3級	合格者数 合計	合格率
北海道	8	570	560	65	193	159	417	74.5%
青森	6	539	529	58	150	143	351	66.4%
岩手	7	484	475	32	94	112	238	50.1%
宮城	2	24	24	4	3	8	15	62.5%
秋田	5	718	710	20	89	183	292	41.1%
山形	4	333	327	9	48	87	144	44.0%
福島	7	1,285	1,250	129	315	336	780	62.4%
茨城	7	1,102	1,086	88	273	262	623	57.4%
栃木	3	221	218	29	63	58	150	68.8%
群馬	1	276	273	38	115	82	235	86.1%
埼玉	2	51	49	0	9	19	28	57.1%
千葉	—	—	—	—	—	—	—	—
東京	6	423	399	10	55	81	146	36.6%
神奈川	2	7	7	1	1	0	2	28.6%
山梨	1	30	26	7	6	7	20	76.9%
新潟	1	233	230	18	81	78	177	77.0%
長野	1	36	33	3	4	10	17	51.5%
富山	3	475	469	58	123	118	299	63.8%
石川	1	141	139	3	42	45	90	64.7%
福井	—	—	—	—	—	—	—	—
静岡	2	112	109	20	38	28	86	78.9%
愛知	21	2,558	2,522	186	637	698	1,521	60.3%
岐阜	6	271	263	22	69	81	172	65.4%
三重	2	101	100	8	39	31	78	78.0%
滋賀	2	58	56	5	18	24	47	83.9%
京都	2	104	101	4	34	29	67	66.3%
大阪	5	120	112	11	25	42	78	69.6%
兵庫	5	740	727	37	134	248	419	57.6%
奈良	1	10	9	2	4	2	8	88.9%
和歌山	1	6	6	0	1	0	1	16.7%
鳥取	2	240	226	20	53	86	159	70.4%
島根	3	298	292	8	53	88	149	51.0%
岡山	6	1,293	1,275	69	279	425	773	60.6%
広島	4	858	844	29	119	200	348	41.2%
山口	5	442	436	30	110	150	290	66.5%
徳島	1	6	6	2	0	1	3	50.0%
香川	2	76	74	4	16	22	42	56.8%
愛媛	4	136	133	8	54	48	110	82.7%
高知	1	62	60	11	21	19	51	85.0%
福岡	6	1,634	1,613	40	274	380	694	43.0%
佐賀	1	146	138	0	4	15	19	13.8%
長崎	7	1,164	1,152	177	326	306	809	70.2%
熊本	9	1,889	1,848	90	395	432	917	49.6%
大分	2	183	178	2	23	51	76	42.7%
宮崎	3	343	341	28	90	117	235	68.9%
鹿児島	8	1,003	983	78	254	241	573	58.3%
沖縄	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	178	20,801	20,408	1,463	4,734	5,552	11,749	57.6%

おわりに

第25回リスニング英語検定試験は、受検者総数20,408名で、合格者数及び合格率は下表のとおりとなり、ほぼ想定どおりの結果となりました。

級	合格ライン	合格者数	合格率
1 級	9 0 点	1,463	7.20%
2 級	8 0 点	4,734	23.20%
3 級	7 0 点	5,552	27.20%
合計		11,749	57.60%

手元にある資料を元に、若干の考察をしてみます。サンプルデータが少ないので、必ずしも全体を表すものではないことをあらかじめご了承ください、あくまでも参考データとしてご覧ください。

まず、パートごとの平均正解率は、Part1 がおよそ61%、Part2 がおよそ72%、Part3 がおよそ82%です。最近の傾向としてはPart3 の正解率がPart1、Part2 よりも高い傾向にあります。Part3 はやや長めの英語・会話を聴いて、設問に答えるという内容ですが、ご指導いただいている先生方も、この方式に慣れてきたことがあるかもしれません。key word となる単語や表現が一部でも聴き取れれば、正解にたどり着けるように作問しています。

実際の英会話においても、相手の言っている内容が100%間違いなく聴き取れなくても、key word が聴き取れればなんとかなることはよく経験することです。

正解率の高かった Part3 で誤りの多かったのは、問9、問20です。問9は「ルールにはないものはどれか」という質問で、逆説的な質問は聞き分けが難しい内容です。問20はTetsuya と Agil の仕事を聞き分けることがポイントです。

Part1 で正解率が低いのは問7、問10です。問7では「水平に動かす」で、horizontally の意味がつかめなかったようです。問10では、「50 millimeters」までは聴き取れても、bend（曲げる）の意味を勘違いしたのでしょう。

Part2 では問4の、時刻の表現に誤りが多くありました。「7時10分前」は It's ten to seven. と言います。絵は6時50分を表しているので、"seven" が聞こえると戸惑うことになったかも知れません。

関係の皆様のご協力により、第25回リスニング英語検定試験を無事終了することができました。この検定試験を更によくしていきたいと思いますので、今後とも積極的に活用いただきますようお願いします。

第25回リスニング英語検定試験

実施細則・試験問題・スクリプト・解答

第25回リスニング英語検定試験実施細則

- | | |
|------------------|--|
| 1. 主 催 | 公益社団法人全国工業高等学校長協会 |
| 2. 趣 旨 | 国際社会に貢献できる人材の育成を目指し、基礎的・基本的な工業技術英語の表現や会話のリスニング能力を向上させることを目的とする。 |
| 3. 基 準 日 | 令和元年10月11日（金） 試験時間約30分 |
| 試 験 期 間 | 令和元年10月11日（金）～10月19日（土）
試験実施日を基準日以外に定める時は、案内文書に同封した「検定試験の実施日の変更を希望する場合の処置について」に従い処理をすること。 |
| 4. 採 点 | 学校ごとに定める委員会で、別に定める解答により行う。 |
| 5. 合 格 の 基 準 | 70点以上得点した者を合格として、90点以上を1級、80点以上を2級、70点以上を3級に認定する。 |
| 採 点 上 の 注 意 | 2回以上採点を確認すること。 |
| 6. 合 格 の 決 定 | 学校ごとに定める委員会で審査し、当核学校長が可否を決定する。決定後結果を発表しても良い（問題・答案の返却は1ヵ月後を目途として行う）。 |
| 7. 合 格 証 書 交 付 | 合格者には合格証書を交付する。実施校は別に定める 各種検定試験WEB入力手順に従い令和元年11月1日（金）までにWEB上で報告すること 。これにより、11月末頃主催者から合格証書が実施校へ送付されてくる。
（参考に、 本検定用の「WEB報告の概略」 を同封しております。） |
| 8. 合 格 証 書 の 記 入 | 合格証書の氏名・生年月日は、学校が記入すること。合格証書認定年月日、実施回数については記入してある。 |
| 9. 試 験 問 題 の 処 理 | 試験問題の漏洩を防ぐため、問題・答案の返却は1ヵ月後を目途として行うこと。 |
| 10. 試験実施上の注意 | ① 試験問題は表紙を上にして配付すること。
② 試験開始から終了まで全て問題CDの放送によって指示される。
③ 解答は問題用紙に記入させても、直接解答用紙に記入させてもどちらでもよいものとする。尚、問題用紙に記入させた場合は、試験終了直後に、解答用紙に書き写す時間を与えること。
※ ③は、CDの放送による指示は特にないので、どちらにするのかを必ず試験開始前に受検者全員へ伝えておくこと。 |
| 11. そ の 他 | 不明の点は下記にお問い合わせください。
公益社団法人 全国工業高等学校長協会
TEL 03-3261-1500
FAX 03-3261-2635
リスニング英語検定担当 水野静佳 |

第25回

リスニング英語検定試験問題

(問題・解答用紙)

注 意 事 項

1. 解答はすべてCDの指示にしたがって行ってください。試験時間はおよそ30分です。途中休憩はありません。
2. 問題用紙と解答用紙は別になっています。
3. 問題はPart1、Part2、Part3に分かれており、Part1、Part2には各10問、Part3には20問あります。
4. 印刷不鮮明のところ以外は、CDの内容、問題についての質問はできません。
5. 問題用紙、解答用紙の決められた欄に、科・学年・組・受検番号・氏名を記入してください。
6. 問題用紙、解答用紙の両方とも提出してください。

科		学年・組		受検番号		氏名	
---	--	------	--	------	--	----	--

公益社団法人 全国工業高等学校長協会

Part 1

Part 1 は、英文の内容に合う絵を選ぶ問題です。

問題は全部で10問あります。

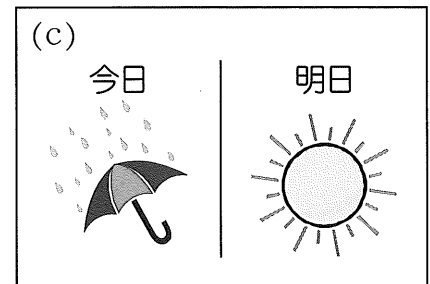
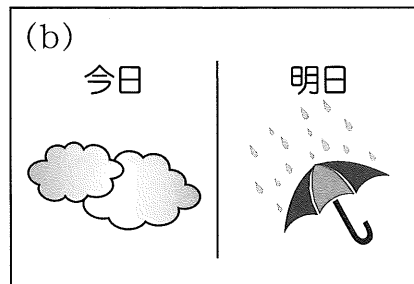
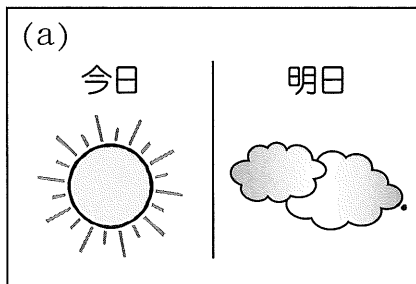
問題番号の後に、短い英文が少し間をおいて、続けて2回読まれます。

問題番号のところに、3つの絵が印刷されていますので、英文の内容に合うと思う絵の記号を1つだけ○で囲んでください。

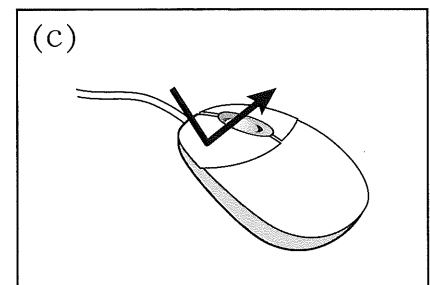
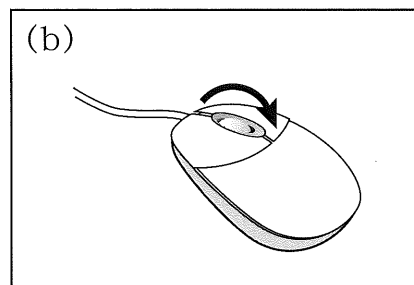
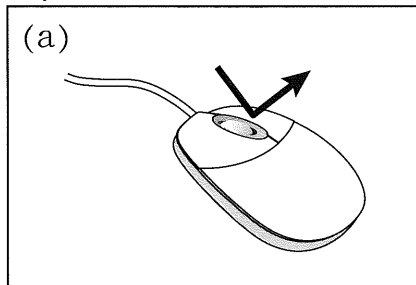
それでは始めます。

Part 1 の問題

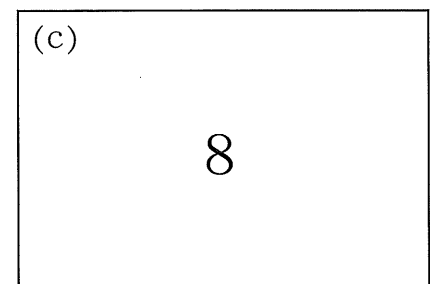
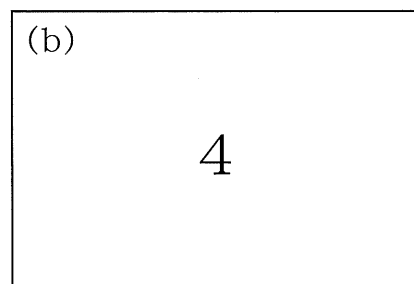
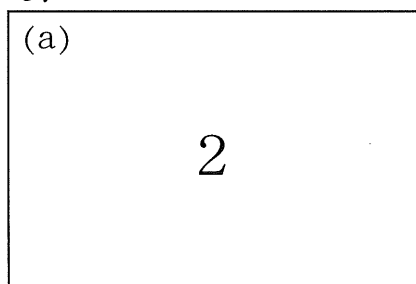
1.



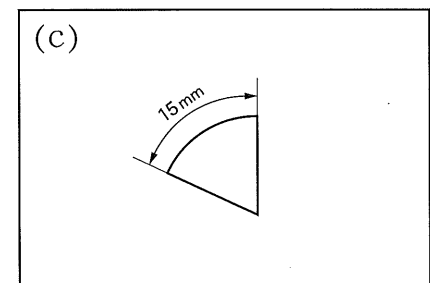
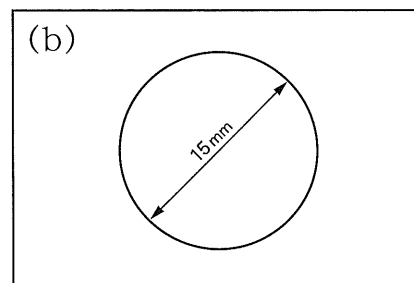
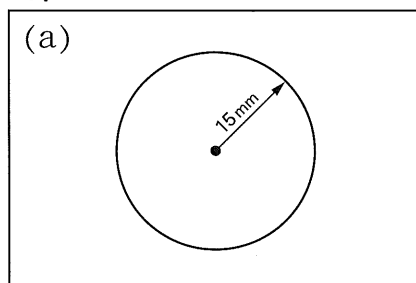
2.



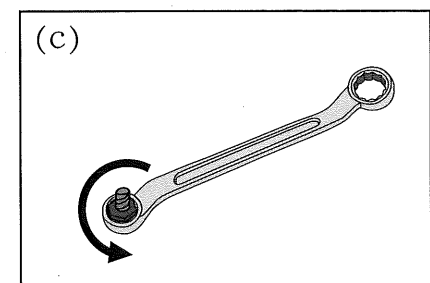
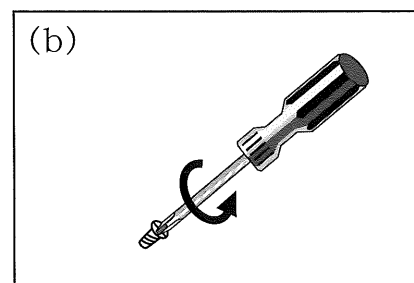
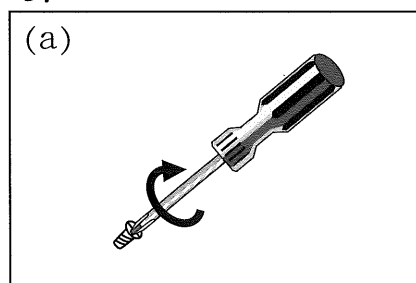
3.



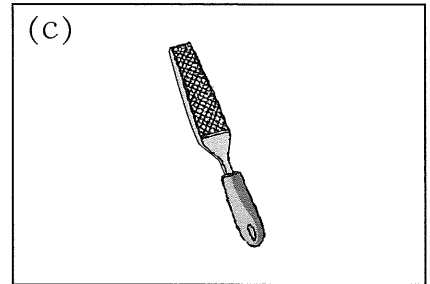
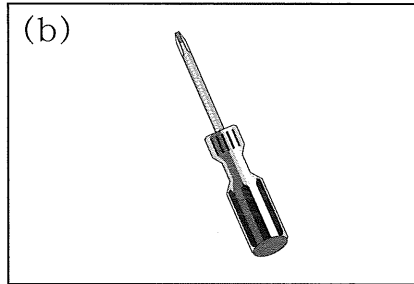
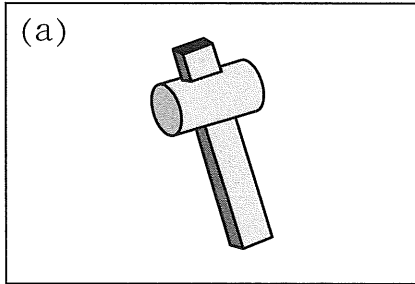
4.



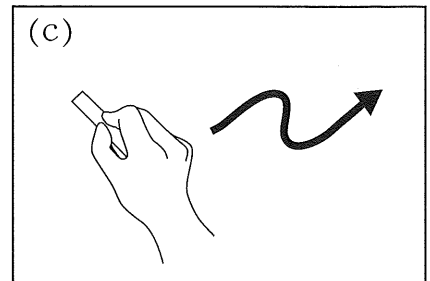
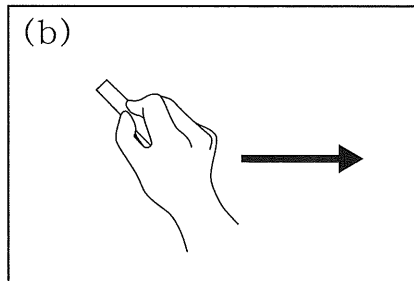
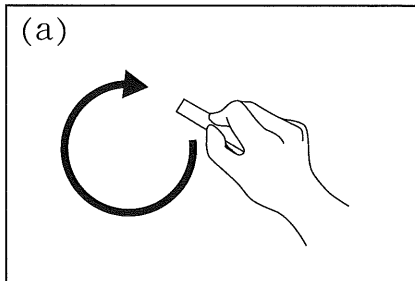
5.



6.



7.



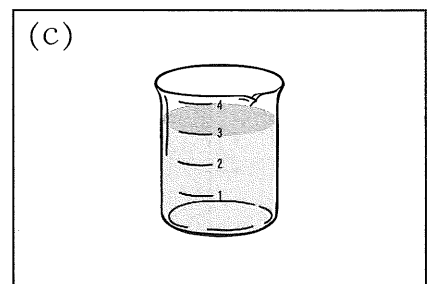
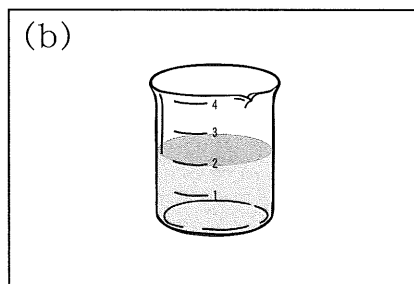
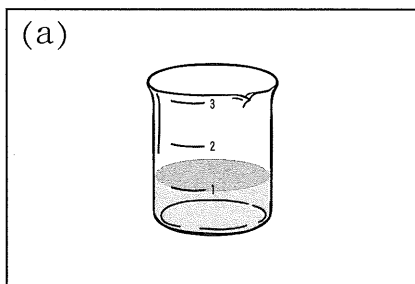
8.

(a)
$$2x^2 + 3y^3 = 0$$

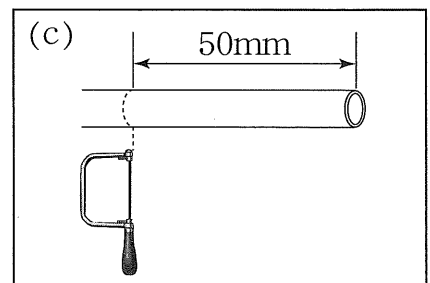
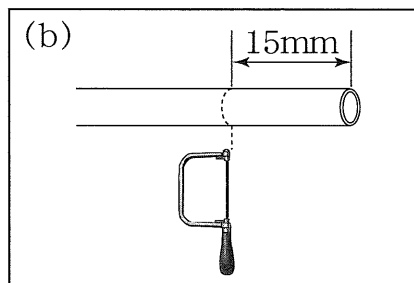
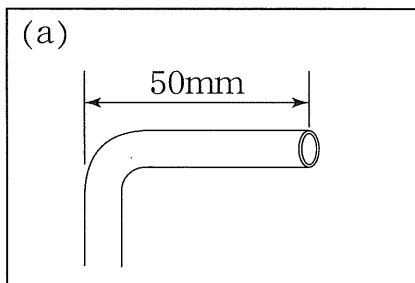
(b)
$$2x^3 - 3y^2 = 0$$

(c)
$$2x^2 - 3y^3 = 0$$

9.



10.



以上で、Part 1 を終わります。

Part 2

Part 2 は、絵の内容に合う英文を選ぶ問題です。

問題は全部で10問あります。

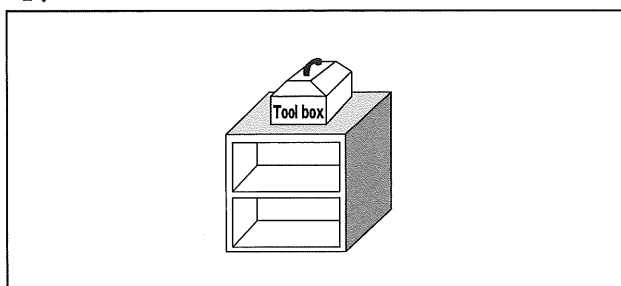
問題番号の後に、(a)、(b)、(c) の3つの英文が少し間をおいて、2回読まれます。((a)、(b)、(c)、(a)、(b)、(c)の順)

問題番号のところに、(a)、(b)、(c)の記号が印刷されていますので、絵の内容に合うと思う記号を1つだけ○で囲んで下さい。

それでは始めます。

Part 2 の問題

1.

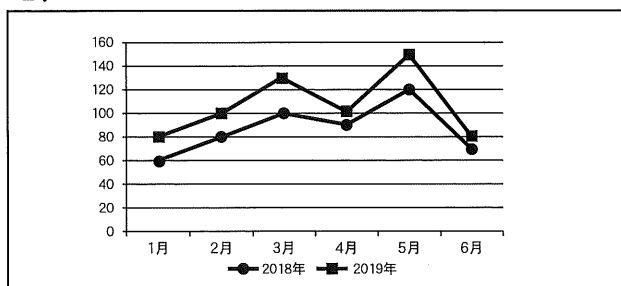


(a)

(b)

(c)

2.

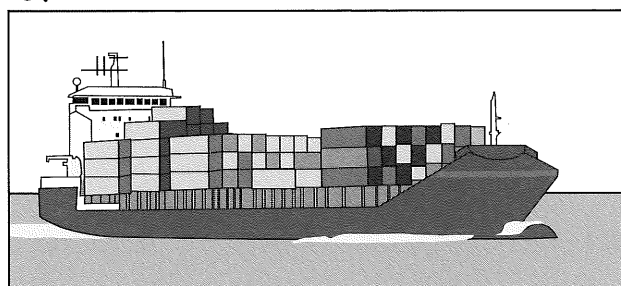


(a)

(b)

(c)

3.

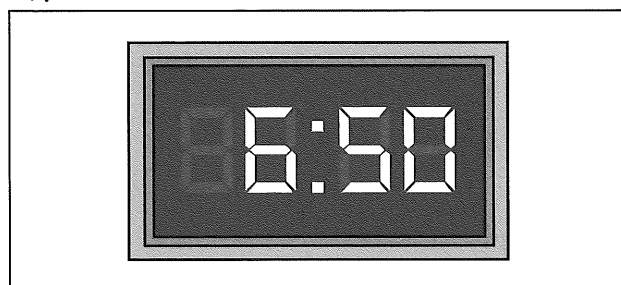


(a)

(b)

(c)

4.

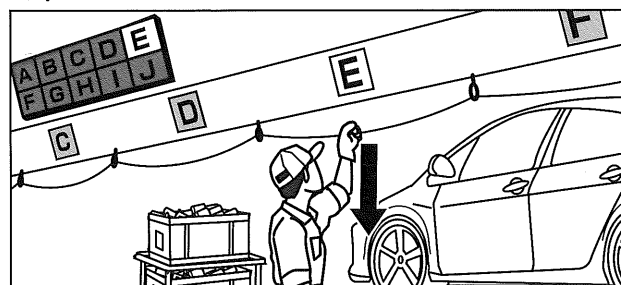


(a)

(b)

(c)

5.

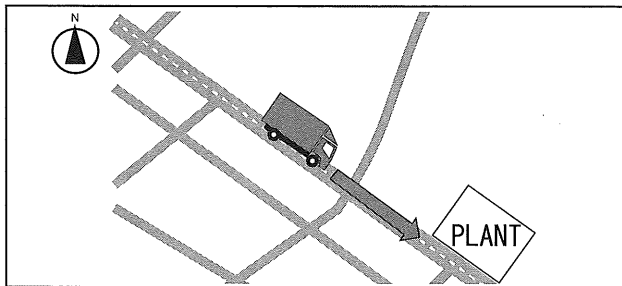


(a)

(b)

(c)

6.



(a)

(b)

(c)

7.

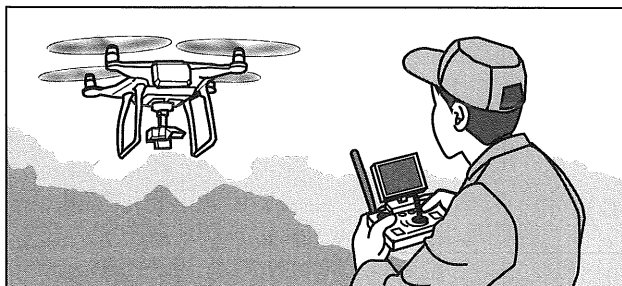


(a)

(b)

(c)

8.

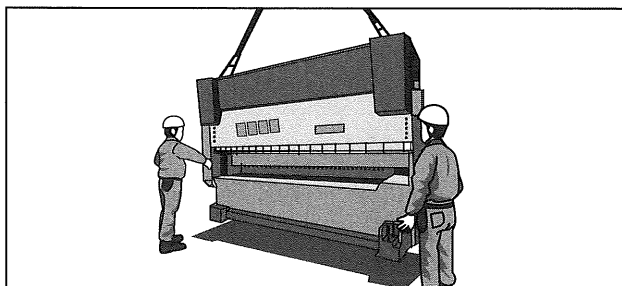


(a)

(b)

(c)

9.

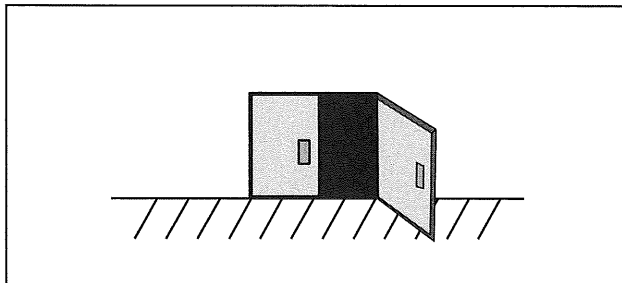


(a)

(b)

(c)

10.



(a)

(b)

(c)

以上で、**Part 2** を終わります。

Part 3

Part 3 は、英文を聞いて、質問に答える問題です。

A～Jまでの10の場面があります。1つの場面についての質問は2つずつです。

それぞれ2回読まれます。(英文、質問、英文、質問の順)

質問の答えとして、(a)、(b)、(c)の3つが印刷されていますので、正しいと思うものを1つだけ選んで、その記号を○で囲んでください。
それでは始めます。

Part 3 の問題

A



1. (a) buildings
(b) automobile parts
(c) stationery

2. (a) vitality
(b) skill
(c) knowledge

B



3. (a) an electrical course
(b) a mechanics course
(c) an architecture course

4. (a) swimming
(b) karaoke
(c) jogging

C



5. (a) a lot of money
(b) a lot of friends
(c) a lot of knowledge and skills

6. (a) 2
(b) 3
(c) 4

D



7. (a) safety first
(b) quality first
(c) setting goals

8. (a) we can save costs
(b) accidents can happen
(c) we will have to pay a fine

E



9. (a) they can use big or small paper cups
(b) two people are not allowed to work at the same time
(c) they are allowed to change the shapes of the paper cups

10. (a) 18
(b) 19
(c) 25

F



11. (a) a graph
(b) a Cause and Effect Diagram
(c) a check sheet

12. (a) the wind
(b) the number of the paper cups
(c) their hands got shaky

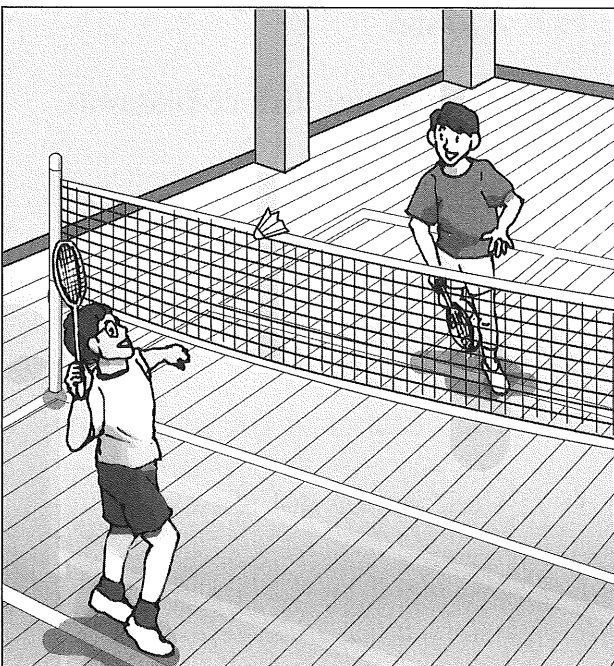
G



13. (a) nervous
(b) excited
(c) proud

14. (a) Tetsuya
(b) Agil
(c) Ms.Yokota

H



15. (a) Tetsuya won
(b) Agil won
(c) it was a draw

16. (a) a boiled egg
(b) a raw egg
(c) a sunny-side up egg

I



17. (a) the next day
(b) three days later
(c) one week later

18. (a) quickly
(b) politely
(c) cheerfully

J



19. (a) the prototype department
(b) the manufacturing department
(c) the inspection department

20. (a) surveying
(b) electrical wiring
(c) machine assembly

以上で、リスニング英語検定を終わります。問題用紙と解答用紙を両方とも提出してください。

第25回

リスニング英語検定解答用紙

[解答方法]：各問題の a、b、c のうち、一つだけ選んで○で囲んでください。
※太枠内には記入しないでください。

Part 1 (各 2 点)		Part 2 (各 2 点)		Part 3 (各 3 点)	
問題番号	解答欄	問題番号	解答欄	問題番号	解答欄
1	a b c	1	a b c	1	a b c
2	a b c	2	a b c	2	a b c
3	a b c	3	a b c	3	a b c
4	a b c	4	a b c	4	a b c
5	a b c	5	a b c	5	a b c
6	a b c	6	a b c	6	a b c
7	a b c	7	a b c	7	a b c
8	a b c	8	a b c	8	a b c
9	a b c	9	a b c	9	a b c
10	a b c	10	a b c	10	a b c
Part 1 得 点		Part 2 得 点		11	a b c
				12	a b c
				13	a b c
				14	a b c
				15	a b c
				16	a b c
				17	a b c
				18	a b c
				19	a b c
				20	a b c
				Part 3 得 点	

科		学年・組		受検番号		氏名	
---	--	------	--	------	--	----	--

得点		合否及び 合格の級	合否	級
----	--	--------------	----	---

第25回リスニング英語検定問題 スクリプト

令和元年

Part One

No. 1

It will be fine tomorrow.

No. 2

Click the right mouse button.

No. 3

This number is greater than 5.

No. 4

The diameter of this circle is 15 millimeters.

No. 5

Loosen the nut with the wrench.

No. 6

Use this tool when you tighten screws.

No. 7

Move your hand horizontally.

No. 8

Two X squared minus three Y cubed equals zero.

No. 9

One-third of the beaker is filled with water.

No. 10

Bend this steel pipe at a point 50 millimeters from the end of the pipe.

Part Two

No. 1

- (a) The toolbox is on the shelf.
- (b) The toolbox is in the shelf.
- (c) The toolbox is next to the shelf.

No. 2

- (a) This is a bar graph.
- (b) This is a line graph.
- (c) This is a pie graph.

No. 3

- (a) The containers are transported by airplane.
- (b) The containers are transported by truck.
- (c) The containers are transported by ship.

No. 4

- (a) It's ten to seven.
- (b) It's seven ten.
- (c) It's ten o seven.

No. 5

- (a) Push the rope when in trouble.
- (b) Pull the rope when in trouble.
- (c) Twist the rope when in trouble.

No. 6

- (a) A truck carrying automobile parts is heading southwest.
- (b) A truck carrying automobile parts is heading northwest.
- (c) A truck carrying automobile parts is heading southeast.

No. 7

- (a) She switched a pair of radio pincers from her right hand to her left.
- (b) She switched a pair of radio pincers from her left hand to her right.
- (c) She has two pairs of radio pincers in her hands.

No. 8

- (a) He is drawing a 10 meter-long line.
- (b) Please take out a drawing sheet.
- (c) Drones can be controlled by radio communication.

No. 9

- (a) The purpose of the overseas business trip is to install the machine.
- (b) The purpose of the overseas business trip is to survey the market.
- (c) The purpose of the overseas business trip is to have a meeting.

No. 10

- (a) The left door is open.
- (b) The right door is open.
- (c) Both doors are open.

Part Three

A

One day in April

Tetsuya got a job at an automobile parts manufacturing company.

Today is the entrance ceremony.

(Ms.Yokota): Hello to all the new employees. I am Yokota, President of the company. We are experiencing a dramatic change in the automobile industry now. We expect you to have flexible thinking and work with great vitality. Let's cooperate with each other to improve craftsmanship. I would like everyone to get used to the company through the training for new employees.

Question 1: What does Tetsuya's company produce?

Question 2: What does Ms. Yokota expect of the new employees other than flexible thinking?

B

One month of training started from the next day.

New employees are to introduce themselves.

(Tetsuya): I am Tetsuya Nishijima. I graduated from a mechanics course at a technical high school. I learned about machining, welding and so on and have gained many qualifications. I was in the swimming club. I liked to sing Karaoke before, but now I like to go jogging in my free time. I am looking for someone who can go jogging with me. Thank you.

Question 3: What course did Tetsuya graduate from?

Question 4: What does he like to do in his free time?

C

Kelly There was a coworker who came from overseas.

Now, it is his turn to make a self-introduction.

Anthony (Agil): Hello, everyone. I am Agil. I work for a sister company in Indonesia. I would like to gain a lot of knowledge and skills during this next month and to play an active role at work and in society back in my country. I speak Indonesian, English and Japanese. I like to play badminton, which is a national sport in Indonesia. Please feel free to talk to me.

Question 5: What does Agil want to gain through one month of training?

Question 6: How many languages does Agil speak other than Indonesian?

D

On the third day of training

Tetsuya had safety education. Listening to stories of the industrial accidents which had happened in the past, he felt scared. He felt that safety first was the most important thing. If we don't follow rules, accidents can happen. We need to consider why we need rules and try our best to follow them. It is important for all companies to pay attention to safety rules. In Tetsuya's company, they exchange greetings by saying "Goanzenni" instead of saying "Good morning" or "Hello".

Question 7: What did Tetsuya think was important when he heard the stories of the industrial accidents?

Question 8: What can happen if we don't follow rules?

E

Kelly On the seventh day of training

Tetsuya learned about quality control. He tried the task called "paper cup tower." It went like this: Using big or small paper cups freely, they pile up 25 stories within 10 minutes. They work in pairs but are not allowed to work at the same time. Also, they are not allowed to change the shapes of the cups. Tetsuya's partner was Agil. On the first trial, Tetsuya's team could pile 18 stories but they fell at the 19th story.

Question 9: Which is not a rule of the "paper cup tower" task?

Question 10: How many stories did Tetsuya's team pile up on the first trial?

F

Next, they analyzed data. They used a Cause and Effect Diagram. As a result, they found out that the most important causes of failing to build 25 stories were "their hands get shaky when they are nervous." and "the lower stories are not stable." They decided to change the way of holding the paper cups so that their hands wouldn't get shaky." They also changed the way of arranging the lower stories so they would be more stable.

Question 11: What did they use to analyze the data?

Question 12: What was the cause of the failure?

G

One hour later, the second trial started. Tetsuya and Agil were both nervous. Five, ten, fifteen, twenty stories... it went well but on the last, 25th story, Agil's hands were shaky, holding the paper cup. Agil put down the cup gently and he let it go. The paper cup tower was waving a little bit but it stopped after a while. Tetsuya and Agil were so proud because they had made it.

Question 13: How did Tetsuya feel when the second trial started?

Question 14: Who piled the 25th story?

H

During one holiday, Tetsuya played badminton with Agil.

Tetsuya was good at badminton but Agil won.

(Tetsuya): You are so good. I give up. Hey! I'm hungry now. Let's go for lunch! I want to eat a lot of meat dishes!

(Agil) : I'm a Muslim, so I can't eat pork. I'll cook 'Nasi goreng' for you instead.

(Tetsuya): Nasi goreng?

(Agil) : Nasi goreng is an Indonesian rice dish with pieces of meat and vegetables. I put a fried, sunny-side up egg on it too. It's a little bit spicy but it's tasty.

Tetsuya was treated to Nasi goreng and became full.

Question 15: What was the result of the badminton games?

Question 16: What was on the top of the dish Agil cooked for Tetsuya?

I

One month has passed and now it is the final day of training. Tetsuya has learned many things. He'll start working at an assigned position the next day. He is a bit nervous but is also looking forward to it. First of all, Tetsuya wants to build a trusting relationship with his coworkers. He has decided to practice 2 things to achieve that. One is to exchange greetings cheerfully with coworkers, the other is to communicate clearly.

Question 17: When does Tetsuya start working at an assigned position?

Question 18: How is Tetsuya going to exchange greetings to build a trusting relationship?

J

Tetsuya is assigned to a prototype department. They make prototypes using a lot of machinery. Agil goes back to Indonesia and works doing electrical wiring. Now, they shake hands firmly and say goodbye.

(Tetsuya) : I wish you well in Indonesia. I'll come and see you.

(Agil) : It would be great if I could work with you, Tetsuya. I'll be waiting for you to come visit me.

(Tetsuya) : See you again. Goanzenni!

(Agil) : See you again. Goanzenni!

Question 19: What department is Tetsuya assigned to?"

Question 20: What kind of job is Agil going to do after he goes back to Indonesia?

第25回

リスニング英語検定解答用紙

[解答方法]：各問題の a、b、c のうち、一つだけ選んで○で囲んでください。
※太枠内には記入しないでください。

Part 1 (各 2 点)		Part 2 (各 2 点)		Part 3 (各 3 点)	
問題番号	解答欄	問題番号	解答欄	問題番号	解答欄
1	a b (c)	1	(a) b c	1	a (b) c
2	(a) b c	2	a (b) c	2	(a) b c
3	a b (c)	3	a b (c)	3	a (b) c
4	a (b) c	4	(a) b c	4	a b (c)
5	a b (c)	5	a (b) c	5	a b (c)
6	a (b) c	6	a b (c)	6	(a) b c
7	a (b) c	7	a (b) c	7	(a) b c
8	a b (c)	8	a b (c)	8	a (b) c
9	(a) b c	9	(a) b c	9	a b (c)
10	(a) b c	10	a (b) c	10	(a) b c
Part 1 得 点		Part 2 得 点		11	a (b) c
				12	a b (c)
				13	(a) b c
				14	a (b) c
				15	a (b) c
				16	a b (c)
				17	(a) b c
				18	a b (c)
				19	(a) b c
				20	a (b) c
				Part 3 得 点	

科		学年・組		受検番号		氏名	
---	--	------	--	------	--	----	--

得点		合否及び合格の級	合否	級
----	--	----------	----	---